

新型コロナウイルス (COVID-19)

安全維持のための在宅命令 – 私の生活への影響

「安全維持のための在宅命令」は私にとってどのような意味を持つのでしょうか？

本文書によくある質問の一覧は、ロサンゼルス郡の衛生担当官による「安全維持のための在宅命令」が個人の日常生活のさまざまな側面に与える影響について、具体的な回答を提供することを目的としています。 必須事業が本命令に準拠してどのように公衆衛生を向上させることができるかに関する質問は公衆衛生局のCOVID-19 ウェブサイトの[衛生担当官命令ビジネス向けよくある質問](#)を参照してください。 命令の内容を説明している[衛生担当官命令一般的なよくある質問](#)もそちらからご覧いただけます。

家の外での活動

1. 外出してもいいですか？

はい。一般市民は、必要不可欠なサービス（つまり、人間の基本的なニーズを満たすサービス）にアクセスするために外出することができます。これには食料品の購入、病院に行く、処方箋を受け取る、子供を保育園に連れて行くなどが含まれます。ただし、常に社会的距離を保つ必要があります。すなわちできる限り、自分と他の人との間に少なくとも6フィートの社会的距離を保ち、同居していない他人と接触するときは常に布製フェイスカバーを着用してください。外出の頻度は最小限に抑え、発熱または呼吸器症状がある場合は自宅で待機してください。

必須事業（つまり、必須事業または必須インフラで雇用されている公務員や民間機関の従業員）で勤務する人も、出勤が許されます。

お互いから少なくとも6フィートの社会的距離を保てば個人や家族でハイキングやウォーキングなどのアウトドアアクティビティに参加することもできます。

2. 郵便局または私書箱に行って郵便物を受け取ることはできますか、またはコインランドリーに行って洗濯をすることはできますか？

はい。同居していない人から少なくとも6フィートの距離を保ち、その場所にいる間布製のフェイスカバーの着用を含む社会的距離措置の要件に準拠している場合、それらの活動は命令で許可されています。

3. イベントや旅行のチケットを持っていますが、払い戻しされますか？

チケットの払い戻しが可能かどうかは販売会社に確認してください。

4. ペットのグルーミングをすることはできますか？

動物病院やペットフードストアなどがそのようなサービスを提供していれば、そこで必須サービスとしてグルーミングをしてもらうことができます。出張方式のペットのグルーミングサービスは許可されていません。

5. 子供を公園に連れて行ってもいいですか？

はい。公園で他人との社会的距離を保つ限り可能です。ただし、屋内外の遊び場やその他の公園設備は、現在閉鎖中です。

新型コロナウイルス (COVID-19)

安全維持のための在宅命令 – 私の生活への影響

6. この命令の有効期間中に結婚することはできますか？

はい。合法と見なされるには、式典の間は結婚するカップル、司式者、および証人は同じ室内でお互いが見える位置に立ち合わなければなりません。結婚式の法的側面は、立ち合う場所を設ける必要があります（インターネットはその要件を満たしていません）。他の参加者は許可されません。式典中もお互いに社会的距離を保つ必要があります（カップルの間を除く）。詳細については、郡の公認記録係にお問い合わせください。

式典一を見たい方々には、ライブストリーミングは1つのオプションになるかもしれません。

家庭内での活動

7. 家族と一緒にいるとき自宅で社会的距離を保つ必要がありますか？

いいえ。その方々があなたと同じ世帯である、または同居している場合はその必要はありません。ただし、あなたが病気の場合は、別の部屋に留まることをお勧めします。できれば自分用のバスルームを使用し、家庭内の他の人との接触を最小限に抑えて、家庭内の他の人を感染させないようにしてください。

8. オンラインストアから配送を受け取ることはできますか？

はい。自宅への郵便およびその他の配送サービスは引き続き機能しています。必須ビジネスは、商品またはサービスを住居に直接届けることができます。配達の際に配達人があなたとの接触が不可欠な場合は布製のフェイスカバーを着用する必要があります。

9. 6フィートの距離を保てば、訪問者を家の中に入れることはできますか？

介護や修理サービスのような「安全維持のための在宅命令」で定義されている必須サービスの提供や、必要不可欠な活動に従事している人のみ家の中に入れることができます。それらのサービス提供者は、病気の場合はあなたの家に入るべきではありません。作業のために家屋内にいる間は可能な限り布製フェイスカバーを着用し、社会的距離を保つ必要があります。

そうでなければ、すべての人が自宅で待機してください。電話または電子機器を用いてお友達と連絡を取り合う他の方法を見つけてください。

10. パーソナルトレーナーを自宅に招いたり、屋外でトレーニングしたりできますか？

いいえ。クライアントが一人で屋外で行う場合でも、パーソナルトレーニングは許可されていません。

11. 水漏れパイプや詰まったトイレの修理に配管工を呼んでもいいですか？

はい。家庭の安全と衛生を維持するために必要なサービスを受け続けることは可能です。そのサービス提供者は、病気の場合は依頼人の家に入るべきではありません。作業のために家屋内にいる間は可能な限り布製フェイスカバーを着用し、社会的（物理的）距離を保つ必要があります。

食品

12. 私は料理をしていません。食事を購入するにはどうしたらいいですか？

レストラン、カフェ、フードトラック、および同様の施設では、配達、持ち帰り、ドライブスルーを介して食事を一般に提供するために営業を継続することが推奨されています。また、食料品店、スーパーマーケット、ウェアハウス、認定を受けたファーマーズマーケット、コンビニエンスストアで調理済み食品を購入することもできます。

新型コロナウイルス (COVID-19)

安全維持のための在宅命令 – 私の生活への影響

13. 自分や家族が無料または低価格の食事にアクセスするにはどうすればいいですか？

食料品や食事を無料または低価格で一般に提供するスープキッチン、フードバンク、およびその他の事業体は、これらのサービスを引き続き提供することが推奨されています。食事は持ち帰るか、配達してもらう必要があります。施設内での飲食は許可されていません。

市民および政府関連の活動

14. 裁判所命令を受けました。これに従うために外出してもいいですか？

はい。裁判所または執行命令に従うために外出することは許可されています。

15. 市民権試験を受ける予定でした。まだ行くことはできますか？

必須な政府機能は、管轄権を持つ政府機関によって決定されます。この場合、連邦政府が今後、市民権試験を実施するかどうかを決定します。試験場に行くべきかどうかを判断するには、試験を管理する適切な政府機関に問い合わせてください。試験を受けに行く必要がある場合、試験場にいる間、フェイスカバーを着用し、社会的距離を保ってください。

発熱や病気の症状がある場合は、外出しないでください。適切な政府機関にその旨を伝えて、スケジュールを変更するか、可能であれば自宅からテストを受ける方法について尋ねてください。

雇用と教育

16. 出勤してもいいですか？

必須企業、医療機関、必須インフラに雇用されている公務員および民間機関の従業員は勤務を許可かつ必要とされています。

勤務が可能な場合は、顧客や他の従業員からの社会的距離、代替勤務スケジュール、在宅勤務、またはあなたやあなたに対応する人々を保護するために導入出来る他の方法について雇用主に確認してください。

17. 失業保険を申請できますか？

COVID-19により雇用主が勤務時間を短縮したり、業務を停止したりした場合、失業保険を申請できる場合があります。詳しい情報はhttps://www.edd.ca.gov/about_edd/coronavirus-2019.htmをご覧ください。

18. 教育機関は開校したままでいいですか？

はい、他人との接触を要する活動中に布製のフェイスカバーの着用を含め、社会的距離措置を実施する上で、遠隔学習の促進、ピックアップ用飲食類の提供、必須機能の実行、または最小限の事業活動の運営は可能です。

旅行

19. 公共交通機関、ライドシェアサービス (Lyft や Uber など) の利用、または交通機関を利用するためにバス停や地下鉄駅で待つのはいいですか？

必要不可欠な活動の為に外出は制限する必要がありますが、他の人々がいる車内や、バス停および駅ではフェイスカバーを着用する限り、公共交通機関やライドシェアサービスの利用は可能です。布製フェイスカバーを持っていない場合は、乗車中ジャケットまたは他の衣類で顔を覆ってください。また、可能な限り、他の人々から少なくとも6フィートの距離を保ってください。

新型コロナウイルス (COVID-19)

安全維持のための在宅命令 – 私の生活への影響

20. 郡外にいる場合、家に帰ることはできますか？

はい、必要に応じて帰宅のために移動することができます。

住宅

21. 私はホームレスです。この命令にどのように遵守したらいいですか？

ホームレスを経験している方は、ご家族やお友達と一緒に住むか、住居オプションを特定するか、シェルターなどの緊急用リソースにアクセスすることをお勧めします。リソースの詳細については、211までお電話ください。

22. 私の家庭では虐待があります。それでも自宅に留まらなければなりませんか？

いいえ。安全ではない環境に留まってははいけません。211に連絡して、安全で支援を受けることのできる代替住宅を探してください。

23. 「安全維持のための在宅命令」の有効期間中に、家やアパートから立ち退きを迫られることはありますか？

一部の地方自治体では、「安全維持のための在宅命令」の期間中の賃借人保護策を発行しています。お住まいの地域の市役所に立ち退き防止策が講じられているかどうかを確認してください。

24. 寮、シェルターやその他の集団生活施設に居続けることはできますか？

はい。病気の蔓延を軽減するための施設の対策に従ってください。また、住居施設内で社会的距離措置を実施しなければなりません。

25. 別の住居や新しい家に引っ越すことはできますか？

あなた自身の健康と安全のためだけでなく、双方のコミュニティの健康と安全のために、現在の住居に滞在することをお勧めします。新居への引っ越しが延期できない場合、安全または衛生上の理由がある場合、またはシェルターへのアクセスを維持する場合にのみ、新居に移動するのは賢明です。

介護

26. 介護が必要な家族やペットの世話をそれぞれの住居ですることはできますか？ または、障害のある友人や家族についてはどうですか？

はい。脆弱した方や動物などに介護とサービスを提供することは許可されています。ただし、あなたとその方々を守るために、介護する前に発熱や病気の症状がないことを確認し、可能な限り周囲から少なくとも6フィートの距離を保ち、その家に滞在中は布製フェイスカバーを着用（病人の介護の場合は医療用マスクを着用）、またその家への出入り前後も含め、頻繁に手を洗う、またはアルコール濃度60%以上の手指消毒液を使用するなどの予防策を取ってください。

27. 子供、扶養家族、年配の家族、または障害者を医療機関や社会福祉の訪問などの予約に連れて行くために外出してもいいですか？

はい。最大限の社会的距離を保つ限り、必要な予約への同伴も含めて、これらの方々の世話をするために外出することは可能です。

新型コロナウイルス (COVID-19)

安全維持のための在宅命令 – 私の生活への影響

28. 病院、老人ホーム、介護施設、その他の在宅ケア施設にいる大切な人を訪問することはできますか？

緊急の医療処置が必要な場合や、18歳未満の未成年者、または発達障害のある人を同伴する場合を除き、病院には行かないことを強くお勧めします。

老人ホーム、介護施設、またはその他の在宅介護施設の居住者を訪問することはお勧めしません。ほとんどの施設には訪問者に関する制限がありますので、訪問する前に施設に確認してください。

電話、ビデオ通話、テキストメッセージなど、老人ホームや在宅ケア施設にいる大切な方々と連絡を取るための別の方法を使用してください。これらの施設の居住者は、COVID-19による深刻な病気のリスクが最も高い方々です。

29. 最近家族が亡くなりました。死亡後の手配をするために移動することはできますか？

ご家族の皆様にお悔やみ申し上げます。はい、このような必要不可欠な事柄の手配を行うために移動することは許可されています。葬儀の手配や集会に関して、あなたが訪問する司法管轄区域が提示している要件を確認してください。ロサンゼルス郡での葬儀の実施方法に関するガイダンスについては、公衆衛生局のウェブサイトを参照してください。

ヘルスケア

30. 薬物依存治療グループ（例：アルコール依存症または麻薬依存）または他のグループカウンセリングに引き続き行くことができますか？

グループカウンセリングサービスのすべての参加者は、準備ができている場合は、遠隔でミーティングに参加してください。グループは、可能な限り、遠隔サポートのための調整を行う必要があります。状況に応じて遠隔参加が実行不可能または賢明ではない場合、社会的距離の要件に遵守した上で、参加者が10人、もしくは10人以下であればミーティングを持つことができます。

31. 医療機関で受診したり、医薬品を取りに行くために外出することはできますか？

はい。医療などの必要不可欠なサービスを受けたり、医薬品を入手するために外出できます。現在、多く病院が遠隔医療サービスを提供しているので、事前に必ず医療機関に電話してください。同様に、あなたの薬を自宅に配送できないかどうかを確認してください。

32. 献血のために外出してもいいですか？

はい。赤十字センターやその他献血サイトで引き続き献血ができます。

社会的距離措置が最大限に実施されている限り、献血は「安全維持のため在宅命令」やその他のロサンゼルス郡の命令によって禁止されていません。赤十字社は、引き続き患者のニーズを満たすために献血の受け付けを続け、献血や献血センターは献血者とスタッフの安全を保障する新しい措置を実施しています。献血センターでは布製のフェイスカバー着用となりますので用意を整えて行ってください。